

病院選びの決定版！

手術数でわかる

検証！治療成績
がん5年生存率×手術数

結核、セカンドオピニオン実績
がん薬物療法
「オブジーボ」投与患者数

いいいい病院

2019

独自調査
6873
病院

がん(乳、肺、肝・胆・膵、胃、大腸、子宮・卵巣、泌尿器、脳神経系)・
心臓病/脳疾患/首・肩・股・ひざ(整形外科)・パーキンソン病/痔
全国 &
地方別
ランキング



Japan Hospital Association
JHA

2019

患者一人ひとりに合った**糖尿病治療**

1型と2型に大別 2型の発症が増加

人間の体に欠かせない栄養素である炭水化物は、消化されてブドウ糖になり、血液を通じて全身の細胞に運ばれます。血糖値と呼ばれる、血液中のブドウ糖の濃度を調節する機構がうまく働かなくなる病気を糖尿病と呼びます。

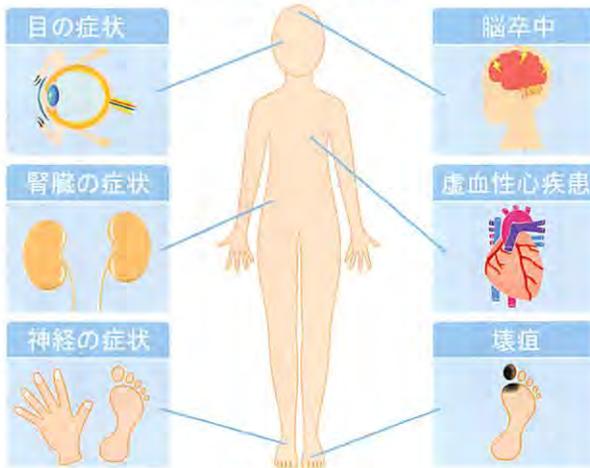
糖尿病は、発症の原因によって2つに大別されます。一つが、血糖値を調節するインスリンというホルモンを作る機能が正しく働かないことで生じる1型、もう一つがインスリンの量が欠乏したり、働きが悪くなったりして生じる2型です。糖尿病患者の大多数を占めているのが2型で、体質や年齢に加え、食べ過ぎや運動不足、肥満、喫煙、飲酒、ストレスといった生活習慣が大きな原因であると考えられています。そのため、食生活の欧米化、運動不足の人やストレスを抱えている人の増加、高齢化などに伴い、患者が増え続けています。

全身の血管が破壊され 合併症を引き起こす

糖尿病は、進行していくに伴い、口の渇きや多飲、多尿、体重減少などの症状が現れるようになります。特に恐ろしいのが、血糖値の高い状態が長期間続くことで、高血糖によって全身の神経や血管が徐々に破壊されてしまうことです。それにより、さまざまな臓器で合併症が引き起こされます。3大合併症と言われているのが、微小血管が破壊されることで生じる、糖尿病網膜症、糖尿病腎症、糖尿病神経障害です。

糖尿病網膜症は、網膜の血管が障害されることで生じる症状で、目のかすみ、視力低下などがあらわれ、最終的には失明に至る危険性もあります。高血糖によって腎臓の働きが悪くなってしまうのが糖尿病腎症です。現在では人工透析に至る第1位の原因となっています。糖尿病神経障害では、神経が障害さ

さまざまな部位に生じる合併症



れ、手足のしびれや痛みなどが現れます。逆に、足の感覚が麻痺して傷に気付かず、潰瘍や壊疽を引き起こすこともあります。他に、動脈硬化が進行しやすくなる点にも注意が必要です。その結果、生命に関わる疾患である脳卒中や心筋梗塞、足の切断の原因となる(PAD)末梢動脈疾患を引き起こす可能性も高まっています。

食事療法や運動療法、 薬物療法などを使い分ける

糖尿病に対しては、種類や病状に応じた治療が行われます。2型糖尿病では、基本は食事療法や運動療法、生活習慣指導が行われます。糖尿病もしくは、その予備軍と診断された人は、自覚症状の有無にかかわらず、医療機関で症状に応じた計画に基づいて、治療を進めることになります。食事療法と運動療法

で血糖値が改善しない患者や、血糖値が非常に高く、急いで下げる必要がある患者、1型糖尿病の患者には薬物療法も行われます。薬物療法では、血糖値を下げる血糖降下薬や、インスリンを体内に補充するインスリン製剤が用いられます。インスリン製剤は注射器で体内に投与する必要がありますが、現在で

群馬



医療法人社団 清水内科

内科・糖尿病内科（代謝内科）・循環器内科・消化器内科

血糖を下げるにはどうしたら良いのか
適切に指導致します

理事長・医学博士 清水 美津夫
日本糖尿病学会認定 糖尿病専門医

〒370-0069 群馬県高崎市飯塚町 703
TEL.027-362-2838

清水内科 高崎



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:50~12:00	○	○	○	○	○	○	—
15:00~18:00	○	○	○	○	○	—	—

休診日：土午後・日・祝



は細い針や、使いやすいペン型の注射器も採用されるようになり、注射時の負担は抑えられています。さらには、インスリン分泌を促進するホルモンであるインクレチンを補充するインクレチン関連薬や、尿と一緒に体内の過剰なブドウ糖を排出させるSGLT2阻害薬といった、新しい薬剤も登場しています。

現在では、糖尿病は適切な治療を受けることで、危険な合併症を防ぎ、生涯にわたって症状を抑えることが十分に目指せるようになっていきます。ただ、問題なのは早期のうちには自覚症状がないことで、気付かないうちに進行してしまう可能性もあります。健康診断で気になる結果が出たり、何らかの症状が現れた際には、早めに医療機関を受診し、適切な指導・治療を受けましょう。

文/鈴木健太

兵庫



内科・糖尿病内科 腎臓内科 消化器内科

よこた内科クリニック

YOKOTA MEDICAL CLINIC

糖尿病専門医の院長を中心に、療養指導の専門資格を持ったスタッフと共に糖尿病治療を行っています。



院長・医学博士
横田 一樹

日本糖尿病学会認定糖尿病専門医
日本消化器学会認定消化器専門医
日本内科学会認定総合内科専門医
日本腎臓学会認定腎臓専門医

診療時間
午前診 9:00~12:30
午後診 4:00~7:00
休診日 木曜午後 土曜午後 日曜 祝日

〒673-0891
兵庫県明石市大明石1丁目6-1
パピオスあかし3階
TEL.078-915-0377
http://www.yokota-naika.com/



医療法人社団日高会

日高病院 糖尿病内分泌センター

患者中心のチーム医療による オーダーメイド医療を実践



当センターでは糖尿病専門医（常勤医7名：2019年2月現在）が多数の糖尿病療養指導士（19名：2019年2月現在）の機動力を駆使し、あらゆる患者さんに最善の治療法を提案し、患者さんと協力しつつ治療を進めます。合併症には軽症から重症まで院内の優秀な眼科、腎臓内科、循環器内科、心臓血管外科、透析センター医の強力なバックアップで対応します。

糖尿病専用の予診室と診察室とが設置され、常時専属の看護師と医師が滞在しています。患者さんはまず看護師の問診を受けます。その後に医師の診察となりますが、必要に応じて栄養士や薬剤師、臨床検査技師

併設診療科等：眼科、腎臓内科、循環器内科、心臓血管外科、

透析センター含め18科

【診療時間】月～土 9:00～12:00 / 14:00～17:00

※火午後は初診のみ

【休診日】日・祝

〒370-0001 群馬県高崎市中尾町886

TEL.027-362-6201

http://www.hidaka-kai.com/hidaka/

や看護師からの指導・助言を行います。この流れで患者さんは各医療者に個別に相談し、最適の治療を選択できます。このシステムが好まれ、新潟、埼玉、栃木県からも通院されます。また1型糖尿病の妊婦さんからも好評を得ています。

患者会も活発で親睦旅行、勉強会（月に1回）を開催しています。医療者も負けずに学会で発表し常に最新の医療技術の更新に努めています。CGM、CSIIやSAPも日常的に行い、フリースタイルリブレ使用者数は群馬県内で国・公立医療機関を含め有数です。すべての患者さんが不安を払拭して病院を後にできる診療を目指しています。



糖尿病内分泌センター長
大島 喜八

日本糖尿病学会認定 糖尿病専門医
日本内分泌学会認定 内分泌代謝科専門医
群馬大学名誉教授

群馬